

平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

社会福祉法人 慈光福祉会

I. 法人の概要

1. 設立の目的等

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

(ア) 保育所の経営

(イ) 一時預かり事業

(ウ) 地域子育て支援拠点事業

2. 法人の沿革

昭和 44 年 4 月 1 日	社会福祉法人 慈光福祉会設立認可される	理事長高松了秀
昭和 44 年 4 月 1 日	善勝寺境内にて慈光保育園事業開始	園長 高松喜代 定員 30 名 (2 歳未満児 8 名 3 歳未満児 12 3 歳児以上 10 名)
昭和 44 年 4 月 28 日	社会福祉法人 慈光福祉会設立登記完了	
昭和 44 年 10 月 1 日	園長 高松喜代から高松和子に交代	
昭和 45 年 4 月 1 日	定員変更 50 (2 歳児未満 12 2 歳児 18 3 歳児 20)	
昭和 47 年 4 月 1 日	園長 高松和子から宮島明彦に交代	
昭和 50 年 4 月 1 日	定員変更 45 (2 歳児未満 12 2 歳児 18 3 歳児 15)	
昭和 51 年 4 月 1 日	閉園時間 17 時 30 分とする。その後昭和 55 年に 18 時、昭和 57 年に 18 時 30 分、昭和 59 年に 19 時に変更	
昭和 56 年 12 月 25 日	現在地 (宮の前) に新園舎竣工	
昭和 57 年 1 月 18 日	善勝寺境内より現在地の新園舎にて保育開始	
昭和 63 年	園舎テラス修繕	
平成 3 年 5 月 1 日	理事長高松了秀退任より、高松信英理事長に就任	
平成 6 年	エンゼルプランの策定前後より年度途中の入所者が増加	
平成 18 年 4 月 1 日	園長 宮島明彦から高坂詢に交代	
平成 20 年 6 月 30 日	園舎屋根葺き替え完了	
平成 21 年 12 月	慈光松尾保育園の受託に備えて、理事の増員(6 人から 9 人に)	
平成 22 年 4 月 1 日	飯田市市立松尾保育園移管引受により、慈光松尾保育園開園 同日慈光松尾保育園設立認可される	
平成 23 年 10 月	慈光保育園テラス・トイレ改修実施	
平成 24 年 2 月	慈光松尾保育園新園舎工事着工	
平成 24 年 3 月 31 日	慈光松尾保育園引き継ぎ保育終了	
平成 25 年 3 月 25 日	慈光松尾保育園新園舎竣工	
平成 25 年 4 月 1 日	慈光松尾保育園新園舎にて保育開始	

平成 25 年 4 月 1 日 理事長高松信英退任により、高松和子理事長に就任
 平成 25 年 6 月 慈光松尾保育園竣工式典実施

2. 事業区分、拠点区分及びサービス区分

当法人の運営する保育所は福祉施設のため、事業区分は福祉事業となる。また、慈光保育園と慈光松尾保育園の 2 園あるため、各保育園を拠点とする。(慈光保育園拠点・慈光松尾保育園拠点)

慈光保育園拠点には、本部と保育所を設置しサービス区分を本部と保育所とする。

3. 設置する保育所の状況 (28 年度) (慈光保育園 0 歳児私的入所 1 名含む)

保育所名 (所在地)	開設 年度	定 員	入所 年齢	年度初 園児数	年度末 園児数	増減	参考 27 年度末
慈光保育園 (長野県飯田市 宮の前 4410 番地 1)	昭和 44 年 4 月	45	0	1	16	+15	11
			1	12	18	+6	11
			2	8	8	0	8
			3	2	2	0	9
	計			23	44	+21	39
慈光松尾保育園 (長野県飯田市 松尾城 3796 番地 3)	平成 22 年 4 月	250	0	9	12	+3	13
			1	25	25	0	25
			2	36	36	0	36
			3 以上	179	179	0	179
	計			249	252	-3	252
法人計	計	295		272	296	+24	291

4. 役員及び職員の状況

(1) 理事・監事 (平成 28 年 5 月 1 日現在)

	定 員	現 在 数	任 期
理 事	9 名	9 名	2 年
監 事	2 名	2 名	2 年

(2) 職員数 (平成 28 年 4 月 1 日現在 (産休・育休職員含む))

	園 長	主 任	正規職員	臨時職員	合 計
本部			1		1
慈光保育園	1	1	6	10	18
慈光松尾保育園	1	2	19	28	50
法人計	2	3	25	38	69

Ⅱ. 当年度の事業の概要（設置する拠点区分・サービス区分ごとの主な動き）

1. 慈光保育園拠点

1) (サービス区分)

(1) 本部 28年度より本部職員1名配置し、本部機能の強化を図った。

① 本部実施活動

*理事会

理事会4回開催 5月30日 27年度事業報告・決算外

12月20日 社会福祉法人制度改革による定款変更外

1月27日 評議員選任解任委員決定外

3月30日 29年度事業計画・予算外

制度改革勉強会を9月27日に実施

*評議員選任解任委員会 3月9日実施 評議員候補者10名を評議員に選任

*慈光保育園と慈光松尾保育園一体化

長年の懸案であった、慈光保育園と慈光松尾保育園の一体化を推進

理事長、塩原園長、中上園長、馬場4名を一体化プロジェクトチームとして一体化を検討。(6月と9月に一体化検討会議を実施)

法人としての保育方針の決定、給与等処遇の一体化(各種規程の見直し)、法人として正規職員採用を実施(11月5日)し、2名採用。

各種規程見直しの詳細を慈光松下事務員、松尾高橋事務長、馬場にて実施。

*法人制度改革

法人制度改革にかんする各種事項を推進

外部研修2回及び市説明会2回出席

制度改革に伴う定款変更、評議員選任・解任委員会設置、評議員選任

財務諸表電子開示システム試行実施、社会福祉充実計画試算実施

*慈光保育園受入年齢変更(保育園と共同で)

慈光保育園の継続的な運営を行うための施策を検討。

慈光保育園職員との検討会2回実施

保護者へのアンケート実施

理事会での検討2回実施

30年度より、0歳～3歳までの受入年齢を0歳～5歳までの受入に変更

*その他

慈光保育園新規採用事務員の指導を実施

(2) 保育所 (慈光保育園)

① 保育方針

- ・ 仏様の心(慈悲)を保育の心として、子ども達の願いと地域の人々の多様なニーズに応え、保護者と共に子ども達の最善の利益を求めよう努める
- ・ より良き保育者となるために日々研鑽を積み、子ども達を人間として尊重し差別することなく公平で、個を大切に創造性豊かな保育を目指す
- ・ おさな児と保護者と保育者が互いに育ち合える場となるように努める
- ・ 子どもの姿：仏様の子として、つよく、あかるく、なかよくのびる
 - いのちの尊さと生きる喜びを感じとる
 - 身近な自然や社会の恵みに感謝し、明るく生きる
 - みんなと仲良くし、のびのびと成長する

② 月の主な活動

月	活 動 内 容
4	入園式
5	はなまつり・親子遠足
6	端午の節句・育児講座
7	プール開き・七夕・保育参観(9月まで)・花火大会
8	飯田りんごんに参加 プールおさめ
9	うんどう会・防災避難訓練
10	秋の遠足・親子観劇・いも煮会
11	報恩講・クラス懇談会・焼芋
12	
1	新年会・絵本の読み聞かせ会
2	節分まめまき・おたのしみ会
3	ひなまつり・お別れ遠足・終了式

③ 特別保育事業 (補助金対象事業)

- ・ 乳児保育促進事業
- ・ 1歳児保育推進事業
- ・ 延長保育促進事業
- ・ 一時預かり促進事業
- ・ 地域活動事業(世代間交流)

④ 施設整備・備品購入等

- ・ 送迎用駐車場・職員用駐車場整備 (27年度事業からの継続)
- ・ 屋上からの避難階段防水工事

- ・会計ソフト・給与ソフト・セキュリティソフト購入
- ・監視カメラ 2 台増設（不審者対策）
- ・2 歳・3 歳児の保育室窓に防暑、防寒塗料施工
- ・コピー機入替
- ・照明を LED に交換（節電、地震対策）
- ・保育業務 ICT 化のためのタブレット、ソフト購入（補助金対象）
- ⑤ 地域との関わり
 - ・グループホーム「大門」との交流
 - ・東野公民館 3 歳児学級との交流
- ⑥ 職員研修
 - ・毎週の園内研修会
 - ・飯田市保育協会等の研修会への参加
 - ・県内外の研修会参加
- ⑦ 危機対応
 - ・毎月の避難訓練実施（年 1 回は消防署指導による実施）
- ⑧ 実習生・ボランティアの受け入れ等
 - <飯田女子短期大学>
 - ・看護学科 3 年生 63 名「少児看護実習」
 - <飯田西中学校>
 - ・職場体験実習 2 年生 2 名・3 年生 4 名
 - <飯田鼎中学校>
 - ・職場体験実習 2 年生 2 名
 - <高陵中学校>
 - ・職場体験実習 2 年生 4 名
- ⑨ 慈光保育園今後の体制検討会実施（本部と共同で）
 - ・慈光保育園の継続的な運営を行うための施策を検討。
 - ・職員会で検討会 3 回実施
 - ・保護者へのアンケート実施
- ⑩ 自己評価の実施
 - ・自己目標、自己課題を立て定期的に振り返りを行い評価する。
 - ・自己評価表に基づき、園長との面談を行う。（年 3 回）
- ⑪ その他
 - ・特別講師派遣（飯田女子短期大学幼児教育学科「子どもの保険 I」塩原）
 - ・関係機関とのケース会議（児童相談所、小学校、子育て支援課等）

2. 慈光松尾保育園拠点

〈慈光松尾保育園〉

1. 保育理念

だめな子どもは一人もない ともに生き、ともに育ちあう

—保育の方針—

<保育の基本>

- ・「ともに育ちあう保育」を保育実践テーマとする。
- ・いのちの大切さ、ありがとうの心を育む保育を大切にする。
- ・幼児が自ら環境にかかわり、のびやかに自己を発揮する保育を行う。
- ・保育所保育指針に従い、養護と教育の調和的保育に心掛け、乳幼児の発達に即した保育を行う。

<保育の目標>

- ・伸びやかな心とからだをつくる。
- ・他の人々と親しみ、喜びや悲しみを共感しあう心を養う。
- ・聞く力、話す力を育てるとともに、豊かな想像性を培う。
- ・豊かな感性や表現する力を育てる。

2. 月の主な活動

月	活動内容
4	入園/進級式、家庭訪問、3歳以上児親子バス遠足（大草城公園）
5	花まつり、田植え、園内整備作業
6	交通安全教室①、保育参観（2歳児/3歳以上児）、内科検診、歯科検診
7	プール開き、七夕まつり/夏まつり、年長野外活動（野底山森林公園）
8	1年生との交流会、希望保育（12～16日）、年長プール活動参観、防災（引渡し）訓練
9	園内整備作業、運動会
10	交通安全教室②、3歳以上児遠足、2歳児親子遠足（短大）、0・1歳児親子の日（保護者保育参観/園長講話）、内科検診、歯科検診、祖父母参観、稲刈り、芋掘り/焼き芋大会、入所説明会
11	個人懇談会、収穫祭、報恩講
12	お楽しみ会（人形劇を観る会、歌とリズムの会）、未満児おたのしみ会 もちつき大会、おわりの会、希望保育（29日）、年末休園（30日）
1	年始休園（3日まで）、希望保育（4日）新年会、どんど焼き、入所面接、保育参観（年長/年中/年少） 継続児入所説明会、地震体験（地震体験車）
2	節分豆まき、記念写真撮影、来入園児一日入園/保護者説明会、年長児温水プール体験（ほっ湯アップル）、継続0、1歳児保護者所説明会
3	おわかれ会、おわかれ遠足、未満児慈交流会、未満児修了式、卒園式/茶話会、 希望保育（24～4/1）

- ・土曜保育（毎週）
 - ・誕生会/避難訓練（毎月）
3. 特別保育事業（補助金対象事業）
- ・乳児保育促進事業
 - ・1歳児保育推進事業
 - ・障害児保育事業
 - ・延長保育促進事業
 - ・一時預かり促進事業
 - ・地域活動事業（世代間等交流、未就園児子育て支援、異年齢児交流他）
- ＜下記 5.地域との関わり 参照＞
4. 施設整備・備品購入等
- ・ウッドデッキ補修、塗装（0・1歳）
 - ・築山の整備、砂場の砂補充
 - ・プールのサイドの補修工事
 - 人工芝の設置（ゴムチップの剥がれ防止）
 - コンクリート補修（ひび割れ対応）
 - ・その他、園庭洗い場の蛇口工事とゴムチップ補修、排煙装置修理、砂場の消毒等
 - ・机・椅子の入替（机 25、椅子 40脚）
 - ・加湿空気清浄機の購入（年少、2歳、1歳、0歳各保育室用）
 - ・その他、紙パック式掃除機（幼児用）、調理用備品類の購入等
 - ・発電機 2台購入（H28年度赤い羽根共同募金配分事業）
5. 地域との関わり
- ・未就園児子育て支援事業「のびのび広場」5月から2月まで14回実施。
延べ参加者 377名（前年度 698名）。（庄司先生「親子リトミック」、新海先生「手作りおやつ」他）
 - ・異年齢交流（松尾小学校 6、1年生との交流活動 5回、緑ヶ丘中学 3年生保育体験 5回）
 - ・世代間交流（常磐台いきいき教室、「北方の空」利用者）
 - ・田んぼ活動（竹村一信さんの田んぼにて＜竹村さん、中村さん、秦野さん＞）
収穫祭、芋掘り、どんど焼き
 - ・第三者委員（主任児童委員）懇談〔清水正則先生/木下房夫先生、湯澤たつ子先生、園長、主任（2）、事務長〕10月、2月
 - ・松尾地区教育懇談会 8月
 - ・緑ヶ丘中学校区小中連携会議 5月、8月

- ・松尾地区乳幼児学級への主任派遣
- ・その他 JA 納涼祭（年長児有志）、松尾地区文化祭（年長児有志）

6. 職員研修

- ・各種職員研修会（私立保育部会研修9回 他）
- ・園内研究保育/研究会 10/20、11/29
- ・日本LD学会 幼保小連携実践研究実践発表 11/20 横浜市
- ・松尾小学校職員との合同研修（神庭医師による講演会）

7. 危機対応

- ・毎月避難訓練実施（不審者対応避難訓練は飯田警察署員協力）
- ・交通安全教室（県交通安全教育センター指導員、飯田警察署員協力）
- ・防災の日引き渡し訓練
- ・消火/火災避難訓練（消防署員立ち会い、指導）
- ・食物アレルギー対応マニュアル作成

8. 実習生/ボランティア等の受け入れ

<飯田女子短期大学>

- ・幼児教育学科2年生「保育実習Ⅱ」3名
- ・幼児教育学科2年生「乳児保育観察実習」60名
- ・養護教育専攻科「一日保育体験実習」1名

<名古屋短期大学>

- ・保育科2年生「保育実習Ⅰ・Ⅱ」1名

<川口短期大学>

- ・子ども学科2年「保育実習Ⅲ」1名

<緑ヶ丘中学校>

- ・技術家庭科3年生（5クラス175名）「幼児とのふれあい体験」
- ・2年生（20名）「職場体験学習」

<泰阜中学校>

- ・3年生（1名）「職場体験学習」

<飯田市社協 サマーチャレンジボランティア>

- ・中学/高校生49名（内 緑ヶ丘中25名、その他の中学生19名、高校生5名）

9. その他

- ・関係機関とのケース会議（児童相談所、小中学校、子育て支援課、ひまわり 等）
- ・飯田市子育て支援課 巡回相談

Ⅲ. 今後の課題

1. 慈光保育園と慈光松尾保育園一体化の推進

28年度は、従来からの懸案であった、慈光保育園と慈光松尾保育園の勤務条件の統一化を図るため、就業規則等各種規程の統一化を行ない。29年度より処遇面での統一化が実施された。

今後は、統一化のメリットが生かされるように、職員の異動や、両保育園の交流を促進し、乳幼児主体の小規模園である慈光保育園と大規模保育園である慈光松尾保育園の両園のメリット、デメリットを両園の職員が経験することで、より質の高い保育が出来る体制を作る。

2. 慈光松尾保育園の認定こども園への移行

認定こども園は、小学校就学前の教育・保育ニーズの両方に対応する施設であり、慈光松尾保育園の引受の時の前理事長の信英先生の教育と保育の一体化を目指すという方針にも合致するものである。

認定こども園のメリットは、①教育・保育のニーズに対応できる。②家庭の状況にかかわらず利用できる。(こどもが3歳以上の場合、保護者が働いている、いないにかかわらず利用できる。③長く安心して利用できる(保護者の就労状況が変わっても、あるいは就労していない状況になっても、継続して、利用できる)

また、今後の少子化の状況を考慮すると、幅広いニーズに対応できる施設にして行く必要があり、28年度から開始した、認定こども園に移行検討を引き続き行い、29年度中には結論を出したい。

4. 慈光保育園の新体制作りの推進

平成30年度より、4歳・5歳児の受入を開始するのに伴い、体制の整備を進める。

以上児保育の勉強会や保育方法の検討。

保育室等施設整備の検討。

5. 社会福祉法人と学校法人の一体化

教育・保育の質を高めるために、慈光幼稚園を含めた3園で人事交流等が出来る体制が必要であると思われる。

社会福祉法人と、学校法人のメリット、デメリットを検討実施したい。